仕事と生活を豊かにする学びの場を作ろう

仕事や生活をするときに必要な知識は?離・転職の時に受ける支援は?自立生活で必要なサービスやサポートは?余暇活動の情報や相談は?など、など色々と知りたいこと、学びたいことは学校を卒業してからでもたくさん出てきます。しかし、障害者にとってこのような学習を受ける場は大変少ないのが現状です。

NPO 法人「エス・アイ・エヌ」では、これまで知的障害者のヘルパー講座や広島国際大学との連携によるオープンカレッジなどの事業を開催してきました。しかし単発的な事業に終わったために、継続的な支援をテーマにした『障害者の生涯学習の場』の講演とシンポジウムを開催します。

自立を支援するための学びの場を作るためにどのような条件が必要か?内容はどのようなものか?を皆さ んと学習したいと思います。

関心のある方はご参加いただき、一緒に学びあいませんか。

記

- 1. 日 時 2008年 3月2日(日) 13時~16時
- 2. 場 所 広島市社会福祉センター 5階 第3 講習室 広島市中区千田町一丁目 9-43 TEL (082) 243-0051
- 3. 内容
 - 講 演 (13:00~14:40)
 - 鳥取短期大学 國本真吾先生の講演 「青年期に学校卒業後の学びの場を」
 - ・自立支援センターるっく 谷口幸子先生の講演「るっくコーポレーションの取り組み」
 - シンポジウム (14:50~16:00)『仕事と生活を豊かにする学び場の作ろう』 【シンポジスト】
 - ・國本真吾先生「全国的な実践の状況から」
 - ・谷口幸子先生「自立センターるっくのめざすもの」
 - ・安森博幸さん(いくせい会)「本人活動に関わりを通して」
- 4. 参加費 500円

【連絡先】広島市中区大手町5丁目3-4 みんなの働く場いっぽ内「エス・アイ・エヌ」事務局 10.082-247-0058 (久保)

【シンポジストの紹介】

《國本真吾先生》

障害者の「生涯学習権」保障に関する研究に造詣が深く、大学教員の傍ら知的障害のある人の大学教育をめざした「オープンカレッジ in 鳥取」の運営委員も務める。また、国公立の養護学校では初めて設置された、鳥取大学附属養護学校の高等部専攻科において授業実践を行うなど、実践を中心に据えた研究に、積極的に取り組んでいる。

《谷口幸子先生》

学習障害児等のための5年制"高校"見晴台学園の卒業後の支援の場として立ち上げた「自立支援センターるっく」は、「るっくコーポレーション」という働く場をつくり、更には学びの要求に応えての愛知県立大学の協力の下で公開講座を開催した。現在、一般就労を希望する利用者の就労支援を主に担当している。

《安森博幸さん》

育成会の理事、おりづる作業所の評議員などを務めると同時に、広島での育成会の全国大会では、本人分科会をコーディネートされ、更におりづる作業所の本人学習会ではサポーターとしても関わっている。また、ご自身は、おりづる作業所に通所する障害のある子の親でもある。

《久保正道さん》

「知的障害者のオープンカレッジ IN 国際大学」「知的障害者の3級ヘルパー講座」「協働カンパニーステップ」の運営に携わった NPO 法人「エス・アイ・エヌ」の理事長「エス・アイ・エヌ」と協働の関係のある小規模作業所「協働カンパニーステップ」や「みんなの働く場 いっぽ」の運営に携わる。障害者の生涯学習、働く場作り、自立の支援などについて NPO 法人「エス・アイ・エヌ」で取り組む。